

皇室献上茶の手摘みと手揉み式を開催

〔農政課〕 ☎36・7168

4月12日、献上茶謹製事業の各式典が行われました。指定茶園となったのは、湯日地区の大石進さんの茶園と、阪本地区の大塚聡さんの茶園です。

手摘み式が行われた大石さんの茶園では、緋の着物に身を包んだ茶娘6人が、もえぎ色に輝くやぶぎた種の新芽を、「一芯一葉」で丁寧摘み取っていきましました。

その後、初倉地域総合センター「くらら」に会場を移して、謹製手揉み式が行われました。手揉み式では、県茶手揉み保存会の会員24人が、8台の「ほいろ」に分かれて、伝統の手揉みを披露。この日に摘み取った生葉約25kgを、約6時間掛けて約4kgの新茶に仕上げました。

丹誠を込めて作られた新茶は、特製の缶に詰められ、6月上旬に皇室へ献上されます。

島田市の行政改革の取り組みに関する意見書を提出

〔企画調整課〕 ☎36・7120

3月21日、行政改革推進委員会（委員長 西野勝明^{にしのかつあき}静岡県立大学経営情報学部教授）から市長に対し、市の行政改革に関する意見書が提出されました。意見書の中では、今後の行政改革の取り組みについて「行政改革というこ

献上茶謹製事業は、昭和34年から53

年間にわたり、厳かに続けられてきた歴史ある事業。島田市としては、平成9年に旧金谷町で行われて以来、16年ぶりの実施となります。

手間暇かけて美しく揉み上げられる献上茶



自然仕立ての茶葉を丁寧に摘む茶娘

まずコストカットがイメージされがち

ですが、個々の目標数値の達成ばかりにとらわれず、行政改革を通して攻めの経営体質の構築を目指すべきであると考えます」と地域経営に向けた行政の体質改善について述べられています。

なお、提出された意見書は、市のホームページからご覧いただけます。

最終処分場土地使用方法禁止仮処分について和解成立

〔環境課〕 ☎34・1122

市は、平成25年2月6日に静岡地方裁判所へ最終処分場土地使用妨害禁止仮処分の申し立てを、一部の地権者に対して行いました。このたび、地権者と市は、暫定的に和解しました。和解の内容は、おおむね次のとおりです。

- ① 一番茶の季節が始まり耕作者や農家に支障が出ないよう配慮した結果、本和解をすることを確認する。
- ② 地権者らは、本和解成立後直ちに、本案事件の第一審判決言渡しまでの間、地権者らの土地上に存在する看板、杭、ロープ、櫓等の物件を撤去

する。

- ③ 地権者らは、本案事件の第一審判決言渡しまでの間、自ら又は第三者をして、ロープ張り、看板、櫓の設置その他の方法により、市及び市の許可又は指示を受けた者が一般廃棄物の処分のための自動車による通行を含めて通行すること、及び管理棟を使用することを妨害しない。
- ④ 市は、本案事件の第一審判決言渡しまでの間、地権者らの土地上に、広域処理された災害廃棄物及び一般廃棄物を埋め立てず、仮置きしない。

- ⑤ 市は、本和解条項を市の広報誌に掲載し、島田市民に対して周知する。

富士食品工業(株)静岡金谷工場との環境保全協定を締結

〔環境課〕 ☎36・7145

市は3月26日、液体調味料や顆粒調味料を製造する富士食品工業(株)静岡金谷工場（牛尾）と、市環境基本条例に基づき環境保全協定を締結しました。

この協定によって工場は、環境保全計画書を策定し、その中で工場排水の水質や騒音などについて、法令が定める規制基準に上乘せる形で、工場側が守るべき協定値や、双方による周辺環境監視測定計画などを



定め、周辺環境の保全に努めることとなります。なお、これまでに協定を締結している工場は次のとおりです。

- ▽特種東海製紙(株)島田工場／特種東海製紙(株)横井工場／(株)ヤマシタコーポレーション静岡事業所／(株)紀文食品静岡工場／矢崎計器(株)島田製作所／日清紡ペーパープロダクツ(株)島田事業所／ネスレ日本(株)島田工場／クノール食品(株)東海事業所／味の素ベーカー(株)島田事業所／(株)あじかん静岡工場／トライ産業(株)島田工場／日本クッカー(株)島田工場／シミックCNO(株)静岡工場／沼津熔銅(株)金谷工場／ジオスター(株)金谷工場

市内全域の飲食店をホームページで紹介

☎商工課 ☎36・7164

市では、市内全域の居酒屋やラーメン店、すし店などの情報をホームページ上で紹介する「島田飲食店マップウェブ版」を作成し、インターネット上での公開を始めました。

一昨年に、JR島田駅前を中心に約120店舗の情報を冊子にまとめた「島田駅前飲食店マップ」を作成したところ、地域住民や観光客に好評だったことから、市内全域の店舗を対象としたウェブ版を作成しました。

飲食店マップでは、市内を島田駅・島田北・六合・初倉・金谷・川根の6エリアに分類し、写真・地図・メニュー・料金・営業時間・定休日・店からのメッセージが掲載されています。ウェブ版では、各店舗による自由な

情報の入力が可能で、常に新しい情報を更新できます。フェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディアとの連携も可能です。

飲食店マップは、NPO法人クロスメディアにまだが委託を受けて運営し、操作説明会などを開催しました。また、登録希望も随時無料で募っています。



☎ <http://shimada-eh.appspot.com/>

ありがとう体験記2を発行

☎学校教育課 ☎46・5630

市教育委員会では、平成23年度に続き市内の小中学生の体験記をまとめた「ありがとう体験記2」発行しました。これは、市教育委員会の「人に役立つ活動をする事によって、人から感謝される体験を広げたい」という願いが込められています。

体験記は、A4判28ページ。「人に役立った」「ありがとうと言われた」

という経験を募集したところ、336点の応募があり、4人の教育委員が52点を選び掲載しました。この体験記は、市内の図書館で閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。



五和幼稚園が民営化

☎教育総務課 ☎46・5613

4月1日から五和幼稚園が学校法人島田学園に移管され、4月3日に開園式が開かれました。

開園式では、平口博彦^{ひろゆき}理事長が「伝統と歴史ある幼稚園を引き継がせていただいた。幼児教育の充実と発展を担っていききたい」とあいさつ。その後在園児たちが公立時代から引き継いだ

園歌を歌い、新たな門出を祝いました。五和幼稚園は、昭和55年4月に旧金谷町立まこと幼稚園として開園し、平成元年に五和幼稚園に改称。平成17年の合併に伴い、島田市立五和幼稚園となりました。

市内にあつた3つの市立幼稚園は、行政改革に基づく民間活力導入の一環として、これで全て民営化されたこととなります。

「広報しまだ」が全国広報コンクール「総務大臣賞」に

☎広報課 ☎36・7118

公益社団法人日本広報協会は、5月8日に平成25年全国広報コンクールの審査結果を発表し、「広報しまだ11月号」が特選「総務大臣賞」を受賞しました。全国広報コンクール入選は、2年連続（昨年は1席・読売新聞社賞）となります。

このコンクールは、全国の自治体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開した広報映像などを対象とし、表現力や企画力、デザイン性などが審査されます。

今年1月に開催された静岡県広報コンクールにおいて、広報紙(市)部門で最優秀賞を受賞した11月号は、全国広報コンクールに推薦され、同部門63点の中から特選を受賞。山梨県甲府市で開催される第50回全国広報広聴研究

大会において表彰されます。

今後も分かりやすく、市民の皆さんに親しまれる広報紙づくりに励んでいきます。取材に伺った際は、ご協力をお願いします。



広報紙(市)部門/広報しまだ11月号